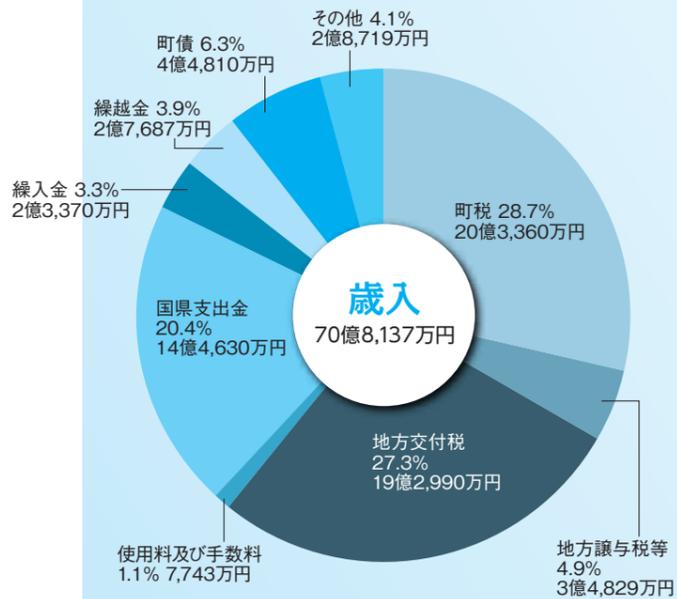


一般会計【歳入】



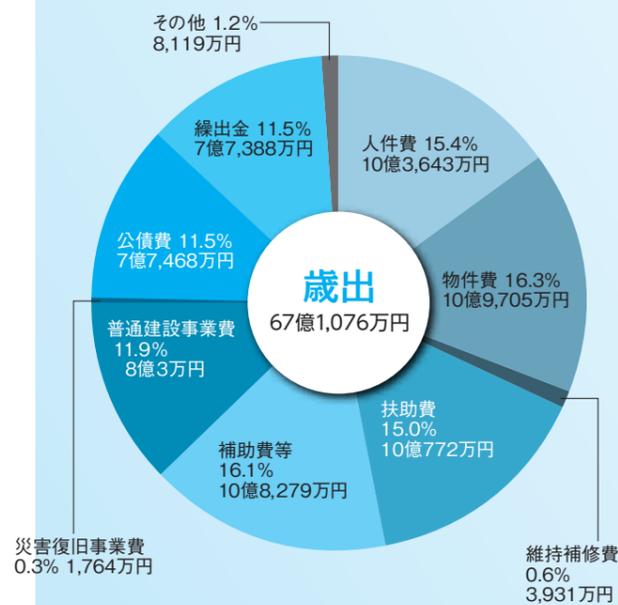
町税、地方交付税、各種交付金、国県支出金が減額となり、前年と比較すると6.9%の減となりました。



決算特別委員会の様子

9月定例会は、9月12日から15日の4日間の会期で開かれました。
定例会では、平成28年度の決算認定については決算特別委員会に付託し審議され、その他、平成29年度各会計補正予算、条例の制定、人事案件の議案など、慎重に審議しました。

一般会計【歳出】



ふくしま森林再生事業や社会資本整備総合交付金事業、公債費は前年よりも増になりましたが、学校耐震改修事業費や除染対策事業費、基金積立金の減額により前年と比較すると5.9%の減となりました。



平成28年度の決算認定は、決算特別委員会に付託し慎重に審議されました。その結果、一般会計決算認定は賛成多数で認定し、その他の特別会計決算認定については全会一致で認定しました。

決算額は、一般会計と特別会計合わせて、歳入107億9,848万円、歳出102億6,369万円となり、差引額のうち一般会計では7,920万円が年度内に支出完了することができない事業の財源として平成29年度へ繰り越されました。

会計別決算額

(1万円未満切捨て/△はマイナス)

会計名	歳入	歳出	差引	
一般会計	70億8,137万円	67億1,076万円	3億7,061万円	
特別会計	国民健康保険	18億1,360万円	16億8,862万円	1億1,274万円
	後期高齢者医療	1億3,297万円	1億3,266万円	31万円
	介護保険	13億4,361万円	12億9,544万円	4,817万円
	簡易水道事業	9,922万円	9,826万円	96万円
	公共下水道事業	2億6,915万円	2億6,748万円	167万円
	農業集落排水事業	6,847万円	6,826万円	21万円
	霊園整備事業	234万円	225万円	9万円
小計	37億1,711万円	35億5,293万円	1億6,418万円	
一般・特別会計決算合計	107億9,848万円	102億6,369万円	5億3,479万円	
上水道事業会計 (消費税抜き)	収益的収支	4億896万円	13億5,775万円	△9億4,879万円
	資本的収支	5,557万円	1億9,352万円	△1億3,795万円

※ 上水道会計 資本的収支の不足額については、過年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、建設改良積立金で補てんしました。
なお、収益的収支の損失は、保有していた資産を白河地方広域市町村圏整備組合に移管したことが主な要因です。

決算認定をめぐる 討論が行われました

決算認定討論



たなちゃん

反対(1人) 鈴木政夫 議員

平成28年度一般会計決算は、歳入歳出差引額3億7062万円。その中から翌年度へ繰り越すべき財源として、約7920万円を差し引いて実質収支額で2億9140万円の余剰金というのは納得がいきません。なぜもっと有効的に使われなかったのか。少子高齢化、人口減少に直面している我が町が、3億円近い余剰金を歳出抑制し、捻出している余剰金はないはず。

一例をあげれば学校給食費の助成、町道や町営住宅の整備、森林再生事業、企業誘致、旧棚倉高校跡地の活用計画、鳥獣有害駆除対策、防犯灯の設置など課題は山積しています。人口減少と過疎化からこの町を守っていく、これが我々の使命であります。3億円近い余剰金をつくらしている余裕は全くありません。以上をもって、反対の討論とします。

賛成(11人) 古市泰久 議員

歳出ベースで前年度よりも約4億2341万円少ない、総額約67億1076万円であり、主な事業として、近津小学校大規模改修工事など、教育環境の整備の充実をはじめ、社会資本整備総合交付金事業による道路改良事業など社会インフラ環境等の整備。国の地方創生加速化交付金を活用した棚倉版ヘルスツーリズム推進事業としてルネサンス棚倉を拠点とした観光誘客とあわせて町民に対する健康教室など充実に向けた事業展開を進めています。

また放射能の風評被害対策として米の全量全袋検査及び放射性物質吸収抑制対策事業による農家への支援と消費者への安全性のPRを行っています。

このほかにも、観光誘客のための観光ガイド育成事業や、友好都市の川越市での棚倉市の開催、幼稚園での3年保育の本格実施に向けた準備にも積極的に取り組んでいます。

その他にも実施してきた事業は数多くあり、これらの事業に積極的に展開してきた決算内容は評価できるものと考え、賛成する立場で討論とします。

条例の制定

◆棚倉町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

育児休業の再取得等を行うことができる特別の事情を追加するための改正

◆棚倉町個人情報保護条例の一部を改正する条例

行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い規定の整備を行うための改正

◆棚倉町情報公開条例の一部を改正する条例
行政機関の保有する情報の公開に関する法律の一部改正に伴い規定の整備を行うための改正

陳情

◎「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について
提出者：全国森林環境税創設推進議員連盟 会長 板垣一徳

◎森林環境税(仮称)創設に関する陳情
提出者：全国林野関連労働組合 関東地方本部棚倉森林管理署分会 執行委員長 秋山広正

◎森林吸収源対策に必要な安定財源確保に向けた森林環境税(仮称)の早期実現について
提出者：東白川郡森林組合 代表理事組合長 富永盛彦

様々な視点から質疑が行われました

平成28年度 決算質疑(抜粋)

一般会計

一歳入
質問 町税の未収入額において、固定資産税が大半を占めているが、どのような内容か。

答弁 会社の倒産等が主なものであり、差し押さえなど滞納処分を行い租税債権の確保に努めているがなかなか徴収できない。

質問 滞納整理課の実績は。

答弁 28年度実績で、徴収額約766万円。

質問 町営住宅使用料の収入未済額の約348万について。

答弁 離職等による収入の減収等により、現在は分納により収めてもらっている。

一歳出

質問 定住・二地域住居等のモニタリングについて、政策的にどのように活かしていくのか。

答弁 地方加速化交付金の事業となるが、28年度の成果を基に、利点・短所等を洗い出し今後につなげる。

質問 高齢者にやさしい住まいづくり事業の詳細は。

答弁 転倒防止など高齢者用の住宅改修費の一部助成であり、

28年度は26件の申請があった。

質問 後期高齢者健診事業費において、受診率が25%しかない。多くの町民に受診してもらうための対策は。

答弁 保健協力員による受診勧奨や口コミ、広報紙で周知しているが、今後も積極的にPRしていく。

質問 インフルエンザ予防接種助成について、高校生の接種率が低い原因は。

答弁 476名に対して80名のみで、高校生は部活の関係などで医療機関との時間が合わないことや意識の問題もあると考える。

質問 棚倉町農産物ブランド認定事業の町の商品に対する事業補助の内容は。

答弁 今年の4月に販売した日本酒等のパッケージ費用や、大豆を栽培してのグラノーラやドレッシングを試験的に製作している。

質問 棚倉町観光ガイド育成事業、ガイド育成事業委託費の内容は。

答弁 ふるさと検定に対する費用やふるさと講座の開催。28年度は子どもガイド育成講

座を開催した。また、登録されている方には、実践研修や視察研修を行っている。

国民健康保険特別会計

質問 国民健康保険税収入未済額が約7千200万円となっているが、滞納者への対応は。

答弁 滞納者へは、1ヶ月・3ヶ月・6ヶ月の短期保険証を交付している。

公共下水道事業特別会計

質問 負担金と使用料の不納欠損額と収入未済額の内容は。

答弁 負担金については、遅れながらも収めている方の収入未済で、不納欠損については、会社等の破産で徴収ができない状況のため。



A

より深い質疑を行うために設置しました。本会議(議場)では、質問は3回までと決まっています!

Q

なぜ、わざわざ特別委員会を設置して審議するんですか?



町政を問う

9月定例会では9人の議員が登壇し質疑を行いました。今回は、それぞれの視点から多岐にわたる質問がなされています。次のページからは、要点をまとめて掲載してあります。

1 須藤俊一 議員 …… 8ページ

1. 本町の教育行政を問う
2. 町道の維持管理を問う
3. 水郡線踏切改修への町の対応を問う
4. 文化財保存等への町の対応を問う

2 古市泰久 議員 …… 9ページ

1. 林政に対する町当局の取り組みは
2. 障がい者差別解消の対応要領の策定を問う
3. 地域おこし協力隊の実績と評価及び隊員の招致に対する町の対応を問う

3 佐川裕一 議員 …… 10ページ

1. 町の防災計画と避難行動要支援者への対応を問う
2. 歴史的遺産を活用した町づくりは
3. 水道行政を問う
4. 北町側溝工事の概要を問う

4 藤田智之 議員 …… 11ページ

1. 町民プールをどうするのか
2. 専門性を持った職員の採用は
3. 高齢者の免許証返納への支援は

5 鈴木政夫 議員 …… 12ページ

1. 町内公共交通対策の取り組みを問う
2. イノシシ被害の実態と対策を問う
3. ルネサンス棚倉の改革は緊急の課題だと思うがどうか

6 藤田光子 議員 …… 13ページ

1. 棚倉運動広場の整備を問う
2. 城跡多目的広場の整備を問う

7 菊池忠二 議員 …… 14ページ

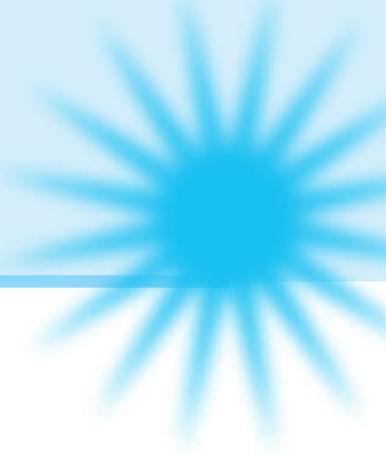
1. 八溝山や流麩寺跡などの観光資源活用と整備事業の計画を問う
2. 少子高齢化社会にあった商店街の支援のあり方を問う
3. 企業誘致推進策を問う
4. 北朝鮮のミサイル発射事件への対応を問う

8 和知裕喜 議員 …… 15ページ

1. 中山本地区治山事業計画を問う
2. 棚倉町里山事業推進を問う
3. 日本型直接支払事業を問う

9 佐藤喜一 議員 …… 16ページ

1. 町民の減少による各政策の運営を問う
2. 自主防災組織の普及推進を問う
3. コミュニティ補助事業（宝くじ補助事業）推進は



正算 補予

ふくしまの恵み安全・安心推進事業費など 一般会計 1億5919万円を増額

補正予算の主な内容

◇一般会計

歳入
国庫支出金、県支出金、繰入金、繰越金、町債などの増額補正です。

歳出

社会資本整備総合交付金による道路維持修繕事業、防火水槽設置事業、米検査機器の放射能検査機器オーバーホール委託などの増額のほか、国保・介護・公共下水・農業集落排水各特別会計への繰入金補正、さらに当面する事務事業に係る経費の補正です。

◇国民健康保険特別会計

職員の人事異動に伴う増額補正です。

◇介護保険特別会計

平成28年度の精算に伴う返還金などの増額補正です。

◇公共下水道事業特別会計

歳入は国庫補助金、町債の増、歳出は長寿命化計画に基づく浄化センター耐震補強実施設計業務委託費及び返送汚泥ポンプ等設備更新工事費の増額補正です。

◇農業集落排水事業特別会計

人事異動に伴う増額補正です。



9月補正予算の状況

(1万円未満切り捨て)

会計名	補正額	補正後の予算額	
一般会計	1億5,919万円	66億2,338万円	
特別会計	国民健康保険	294万円	17億2,405万円
	介護保険	5,042万円	14億968万円
	公共下水道事業	2,626万円	2億9,217万円
	農業集落排水事業	392万円	7,840万円



菊池 孝子さん (下山本)

人権擁護委員候補者の推薦



須藤 常雄さん (堤)

棚倉町固定資産評価審査委員会委員の選任



八槻 浩子さん (八槻)

棚倉町教育委員会委員の任命

人・事・案・件

問 教科担任制・縦持ち制の導入は 答 事業の成果等により判断する

問 この事業内容と、郡内で導入した学校は。
教育長 新たな試行事業で、県内小中学校14校ずつ指定され、郡内では埴小学校、中学校両方が導入している。

問 この事業とキャリア教育との整合性、全国学力テスト等の正答率の向上とのかわり。
教育長 「教科担任制」「縦持ち制」により子どもたちが主体的に学ぶ授業の改善が図られ、学力向上に繋がるのであれば、キャリア教育の有効な手立てになると思う。

問 教育シンポジウムで発表した「フォーサイト手帳」とは。
教育長 棚倉中学校1学年の提案で試行、実施されており、生徒の自己理解、自己管理能力を高めるツールとして大変有効であり、学校全体での使用も検討している。



棚倉町キャリア教育シンポジウムの様子

問 町道の維持管理費は、平成28年度の費用は、約5千万円

問 路面の修繕、橋梁の長寿命化の計画及び、道路パトロールの状況は。
町長 路面の修繕は平成25年の路面調査の結果により路線を選定し、橋梁は平成23年及び平成28年の点検結果により「橋梁の長寿命化計画」を策定している。パトロー

問 草刈について、町費とボランティアでの実施の違いは。
町長 混在しているが、地域でできることは地域で行うことも必要であり、活動を支援する施策も検討していく。

問 水郡線踏切改修への町の対応を問う
答 踏切道の拡幅費用は全額町の負担となる

問 草刈について、町費とボランティアでの実施の違いは。
町長 混在しているが、地域でできることは地域で行うことも必要であり、活動を支援する施策も検討していく。

ルは月3回程度実施しており、損傷が激しい箇所は安全な通行確保のため予算措置を図り対応する。
問 町道の草刈、業者委託の基準は。
町長 雑草の高さ約30cm以上の箇所を年1回、7月から8月に実施。委託基準は「福島県土木積算基準」に基づく単価で、幹線町道及び公共施設などへの連絡道路を実施。



須藤 俊一

問 観音様踏切へ歩道の設置と、周辺の道路整備の考えは。
町長 踏切前後の道路幅員が7.5m、踏切幅員が5mと狭いため車両の交互通行に支障があり拡幅の必要がある。

問 町道玉野逆川線の歩道設置状況は。
町長 踏切を拡幅する費用は全額町の負担となり、今後測量図を作成し計画協議書をシエイアール東日本水戸支社に提出することとなる。実施には年数を要する状況である。

問 文化財保存等への対応は老朽化したものや、新たに設置する案内板などは、町文化財保護審議会の意見を頂きながら検討する



古市 泰久

が得られたものと評価している。

問 平成27年度以降、招致が失敗に終わった原因は。
町長 平成27年度以降、募集し応募はあったが採用には至っていない。平成28年度から募集内容を変更し引き続き募集を募っていく。



3年間の任期を終えた元地域おこし協力隊の2人(今後の活躍に期待する)

問 航空計測の森林資源量調査の意向は 答 県より提示があり次第、対応を検討

問 国の森林環境税(仮称)創設については、今、議会で議員提案の形で意見書の採択に向かっているが町の対応は。
町長 森林整備の財源確保に向け国へ要望していく。

問 森林再生事業は、保安林を中心に約30ヘクタールを5年間実施してきたが、今後100ヘクタール規模に見直しを図る必要があると思うが、検討の意向はあるか。
町長 平成30年度以降、3年間は年間30ヘクタールを大きく上回る計画を策定する。

問 林業後継者育成の施策は。
町長 平成28年度より県において緑の青年就業推進事業を実施しており、高校生を対象として木材の伐採や製材工場の現場見学会や職場体験を実施している。今後、国・県や関係機関と連携して育成に努めていく。



森林再生の事業の様子

問 一期目の町長選挙の公約にバイオマス事業の推進を掲げていたが現在の所見は。
町長 森林の再生と林業の活性化に寄与できる事業と考えており、事業の推進を検討していく。

問 障がい者差別解消の対応要領の策定が未定だが
答 現在、要領は策定していないが、今後策定していく

問 地域おこし協力隊の実績と評価は
答 総合的にみて成果が得られているものと評価している

問 策定については、いつごろ予定しているのか。
健康福祉課長 年度内を目標に策定していく。

問 地域おこし協力隊の3年間の活動内容及び評価は。
町長 地域の魅力や資源等の発掘等、地域活性化のための活動に取り組んできた。任期満了後は2名とも町に定住し引き続き活動を継続しており、総合的に見て成果



問 北町側溝工事概要を問う 答 平成27年度採択、30年度完成



平成30年度完成予定の北町側溝工事

問 当初の計画から追加変更は。整備課長 延長など計画に変更はなく進んでいる。

問 町の防災計画と避難行動要支援者への対応を問う

答 地域防災計画に基づき対象者の名簿を作成し、関係機関に情報を提供

問 町の防災計画と避難行動要支援者への対応は。

町長 地域防災計画の中で「要配慮者予防対策」として一節を設け、支援体制の整備、避難行動要支援者避難支援プランの策定などについて規定している。「避難行動要支援者への対応」については、地域防災計画に基づき対象者の名簿を作成し、関係機関に情報を提供している。

問 自治会との連携は。町長 避難行動要支援者名簿を作成したので、各行政区と自主防災組織に名簿を提供し、個別計画の策定について依頼しており、互助の確立に取り組んでいる。

問 水道管布設の要望はあるのか

答 現在のところ、本管布設の予定はない

問 住民の要望があるが、水道管が布設されていない地域は。

町長 中山本大内地区、双ノ平地区の一部、堤字池下地区の一部。

問 桧木松沢地区等、共有管の老朽化や細くて住民の生活に支障を生じているような水道管の布設替えに、町から補助も考えていただきたいと思うが、どうか。上下水道課長 補助金として交付することは無い。費用負担はお



水道共有管の桧木松沢地区

願いするが、受託工事で町での施工は可能かと思われる。

さ かわ ゆう いち
佐川 裕一

問 棚倉初代藩主、立花宗茂公の大河ドラマ制作を問う

答 招致活動を通して関係団体との交流を図っていく



ふじ た とち ゆき
藤田 智之

問 町民プールはどごうするのか 答 調査検討中、結論は出していない

問 約5年前に撤去した、町民プールを現在の様に考えているのか。撤去前の状況は。新規整備の場合どの位の費用と維持費がかかるのか。補助金などはあるか。小中学校のプールの活用は。ルネサンス棚倉のプール使用料金の補助はできないか。子どもセンターの敷地に幼児の水遊び場を整備してはどうか。

町長 学校のプールの活用を含め調査検討している。撤去前は年間3,795人が利用し運営費用は約460万円だった。25メートルプールと幼児用プールを新設すると約2億円の整備費と5,600万円の維持費が予想される。補助金などは期待できない。小学校プールは小学生のみ、中学校プールは部活動で一部開放している。ルネサンス棚倉のプールは営業の妨げとなるため受け入れできない。子どもセンターの敷地での整備はニーズを調査したい。

問 整備の結論を出して、対応策を示すべきでは。

町長 子ども第一で考えたい。



活用が望まれるルネサンス棚倉のプール

問 専門性を持った職員の採用は

答 特に必要性を感じていない

問 今後、ITの更なる高度化や業務の高度化と専門性が要求される中で、専門性を持った職員の採用を進めるべきではないか。

町長 専門職の採用は、幼稚園教諭を除けば、保健師の採用が数名ある。業務上必要な基礎的・専門的知識及び技能は職場での習得と業務に応じた外部研修で十分成果が上がっている。その他、任期付職員の制度も新設している。

問 業務の高度化へ対応は。

町長 専門性に関しては、逆に民間の力を利用したい。



未利用な子どもセンターの敷地

問 高齢ドライバーによる重大事故の増加や道交法改正で免許証返納が増えているが、町としての対応は。様々な団体と協力して取り組むべきではないか。公共交通環境の構築は。

問 免許証返納への支援は

答 様々な観点から検討したい

町長 昨年度の町での返納者は10名で増加傾向にある。支援としては県タクシー協会が利用料金の10%割引を実施し町内タクシー会社も対応しているが町独自の支援策は実施していない。

高齢者の運転免許証の自主返納は、棚倉町に限らず全国的な課題なので国、県等の取り組みを見ながら、町で出来る事には積極的に取り組むたい。公共交通としても様々な検討を進めていきたい。

問 町内公共交通対策の取組みを問う 答 実証実験なしに運行を実施したい

問 町内の交通対策の取組みは、どの様に進んでいるのか。

町長 これまで、本年度は試行運転、来年度実施すると答弁があったが、現在どこまで進んでいるのか。

町長 国に要望していた補助事業が採択にならなかったことから、町単独事業での実施となることから実証実験なしで運行に向けた検討中である。形態は巡回バスやデマンド交通タクシーの利用など多方面からの運行に向けた検討をしている。

問 検討の状況はどうなっているのか。

産業振興課長 過口、県自治研修センターで事例発表を受け、その後、小野町の話を聞くなど、それらを基に資料等を集め検証している状況である。

問 イノシシ被害の実態と対策を問う

答 町村境の捕獲活動は猟友会と調整しながら実施

問 イノシシによる農作物への被害は年々深刻になっている。農村地域での被害の拡大は、人口減少とともに重大な問題となっている。

町長 そこで現時点での捕獲頭数は前年同期と比べてどうなっているのか。また、東白川郡内は調整ができていないが、浅川町や白河市の間で郡境の調整をしてほしいとの要望が出されているが、その見解を求め。

町長 捕獲頭数は8月末で昨年は76頭、今年度は62頭となっている。

郡境界については、県指定管理鳥獣捕獲等事業によりイノシシの個体数調整を目的に、捕獲業務を福島県猟友会に委託しているため、市町村境の捕獲活動の際には隣接

する猟友会と調整し実施している。

問 郡境界は猟友会とは別の話なので、浅川町から話があった場合は十分協議してほしい。

産業振興課長 質問内容を踏まえて対応したい。

問 平成23年の2億2千万円の損失補償の内容は

答 金融機関と平成33年3月まで借入補償

問 ルネサンス棚倉の昨年度は赤字決算、改革は緊急の課題であるが、町は2億2千万円の損失補償を議決したが、金融機関との間で補償契約が結ばれていると思う。その内容について説明を求め。

町長 運営の改革については地方創生事業で、健康づくりプログラムやヘルスツーリズム用食事メニューの開発など行い黒字転換を目標に事業の運営に努めたい。損失補償については金融機関と

問 棚倉運動広場に屋根付きベンチは 答 多目的施設の為現在考えていない

問 バックネット側の両側に屋根付きのベンチを設置してはどうか。

教育長 特定の野球やソフトボールに対応する屋根付きベンチの設置は、現在のところ考えていない。

問 観覧、応援する場所の環境整備が必要なのは。

教育長 現在、観覧場所として活用されている所は東側緑地帯であるが、芝生の痛みや雑草など見受けられるので、今後、芝生の張替え等については十分に検討していく。

問 広場全容の環境整備という点から全体を見た時、なぜ南側に照明が設置されていないのか疑問に思うが。

生涯学習課長 費用面の問題でつけられなかった。今後、利用条件や費用面等、十分な調査をしながら検討していきたい。

問 城跡多目的広場に幼児が遊べる水場を設けては

答 水場の整備などは考えていない

問 真夏の暑い時期に幼児を遊ばせる水場がない。幼児を連れて遊びに行ける木立のあるせせらぎ程度の水場は設置できないか。町民プールも無い現在、子育てしやすい環境とは程遠い有様だと思うが、どの様に考えているのか。

町長 平成12年策定の棚倉町中心市街地活性化基本計画に基づき、国の補助を受け、平成15年度から20年度にかけて整備した箇所、目的は町民や来訪者の憩える場所、各種イベントが開催できる空間を確保するためとしている。また現在、都市公園として広場の芝生などを管理しているが、今後多目的に沿った活用を考えているが、今のところ広場に幼児が遊べる水場などを整備することは考えていない。



小さい子どもが集い癒される場所になることを期待する城跡多目的広場



損失補償契約を締結し、借入れを実行しており、期間は平成33年3月31日までとなっている。



鈴木 政夫



改革が求められるルネサンス棚倉



藤田 光子

問 歴史のまちづくりの景観のひとつとして、城跡に似合う小さな庭園を造り、幼な児が遊び、日暮れには夕涼み、時に野だての茶席にと、心を癒す憩いの場として利用されるとしたら基本計画に基づく目的に、充分見合った事業でないかと思うが。

町長 城跡周辺を含め、今後の活用方法については考えていかなければならない。本当に小さな子どもたちが遊べる場所というのも、併せて考えていかなければならないと思う。

整備課長 いろいろな提案に対し、内容を十分に精査検討し、今後の施策でさらに検討していきたいと考えている。





価値の高い観光資源八溝山

問 観光地八溝山周辺の整備予定は
答 県と必要に応じ要望、協議をしていく

知恵を使い仏教にも造詣が深い場所であった事をPRし観光、産業、商業に結び付けるべきでは。
町長 私になってから随分力を注いできたし、色んなやり方を十分に検討を進めていく。

問 流廃寺跡の管理方法、更なる整備計画はあるのか。
生涯学習課長 あらたな専門家による策定委員会を設け国からの指導と合わせて協議しながら、整備計画を策定していく。

問 少子高齢化に合ったコンパクトな商店街とは
答 公益的な施設を商店街に立地し、用事が一か所対応できる

問 中心市街地の空き地を場所によっては町が土地を取得し、小さな拠点づくりをしてはどうか。
産業振興課長 中心市街地活性化計画により城跡を中心とする市街地、そこで必要に応じてそのような計画も発生する場合もある。

問 日本初出土の金銀象嵌鉄剣を図書館にミニ博物館を併設し展示することは可能か。
生涯学習課長 第6次振興計画の中で収蔵庫なども必要なので充分検討していく。

問 ニーズに合った品揃え、空き店舗の活用などの調査をした事はあるのか。
産業振興課長 空き店舗等の調査は今年度、商工会が実施予定、その結果で、連携して対策を検討。

問 高齢化社会に向けて中心市街地にコンパクトな高齢者用の町営住宅の建設を提案するが。
整備課長 町営住宅団地の老朽化が進んでいることから、今後建築計画の中で考慮できる。
産業振興課長 地域公共交通を活用して、高齢者の町中への誘導は買い物支援と合わせて充分検討していく。

問 企業誘致推進委員のその後の活動は
答 企業誘致ガイドを作成した
問 突然のJアラート放送の感想は
答 正常に起動し町民へ即座に周知できた



コンパクトで賑わう町を目指して

問 インフラ整備はコンパクトで効率の良い長期的なプランが必要だが。
町長 商店街、商工会と協議していくかなければならない。



菊池 忠二

問 中山本地区治山事業計画を問う
答 県と現地を確認し要望を行っている

問 石神田地区の沢は2方向に分かれていて、一方の沢は完了しているが、もう一方の沢の治山施設の整備は。
町長 県南農林事務所を確認したところ治山ダムを4基から3基に設計変更となり、国との協議や本庁へ流路工の要望をしている状況であるため、事業の着手は次年度以降になる予定。

問 石田地区、大内地区の治山施設の整備は。
町長 県では他の地区の事業完了を見据え事業の実施時期を検討する意向。

問 滝ノ柴沢の治山設備の整備並びに町道段河内平塩線から小山田川までの改修は。
町長 県南農林事務所と現地を確認し、事業実施の要望をしている。また、町道から小山田川までの水路等の改修は治山事業の採択にあわせて検討。

問 松場地区（長沢）の治山施設の整備は。
町長 民家の有無や被害状況を勘案し優先順位をつけながら治山事業の要望をしている。



4年連続で災害にあった滝ノ柴沢

問 滝ノ柴沢の町道より小山田川までの改修を早急にできないか。
町長 沢が全然手つかずの状態であり、別な方法で計画をしている。

問 棚倉町里山事業推進は
答 町民の方々に広く参加をしていただきたい

問 里山や里山環境を整備保存する事業を行っている団体や補助金を交付している団体数は。
町長 活動をしている2団体に補助金を交付している。



和知 裕喜

問 ひよこミュージアムについて。
町長 興味、関心がこれから発達する幼少児童を対象に、里山への興味を深めてもらう自然環境を意識した体験型プログラムを全国各地のミュージアムが提供し、昨年度から実施。

問 日本型直接支払事業とは
答 地域の方々に環境美化という点でもご協力いただいている

問 キッズキャラバンの事業内容は。
町長 棚倉幼稚園を会場とし、園児のほか保育園3歳児を対象に、自然は友達として、昆虫や植物、化石に関する遊びなど、体験

問 多面的機能支払制度と中山間地域直接支払制度の加盟団体数は。
町長 多面的機能支払制度は17組織、中山間地域等直接支払制度は7組織。

厚生文教常任委員会所管事務調査活動報告

問 小学校・幼稚園の統廃合計画は 答 第6次振興計画に基づき検討する

問 本町では、小学校5校・幼稚園4園を運営しているが、その統廃合について計画はあるのか。
教育長 この統廃合については、第6次振興計画に基づき、今後の児童数の推移を把握し、また総合的な分析を行い、適正規模、適正配置等について検討する。

問 本町の小学校において、文部科学省の指導による適正規模校になるのは棚倉小学校ぐらいだが、統廃合の青写真はあるのか。
子ども教育課長 現在のところ、これから検討するということなので青写真はない。

問 学校の統廃合については、多額の費用が必要になると考えられるが、この件について町長の見解を求める。
町長 これから早急に取り組みたいが、財源とか行政改革ということではなく、子どもたちにとって一番良い教育環境を考えると



改築された山岡小学校

が大変なことである。
問 キャリア教育をやっているが統廃合問題はトーンダウンするかと考えるか。
教育長 キャリア教育と統廃合の問題は、全く別もの問題であると感じている。

問 現在の防災組織の団体数は
答 行政区を主として7団体

問 町内において現在、組織されている自主防災組織の現状と、今後の組織結成の動向はあるか。
町長 8月末で7団体が組織運営されているが、今年度内に新たに3団体程度の結成を見込んでいる。

問 本町には、53の行政区があるが、今後の指導についてどのように考えているか。
住民課長 地域防災計画に基づき、すべての行政区において設立を目指していきたい。



放課後児童クラブ、子どもセンターにおける 子育て支援の現状と課題について

〔放課後児童クラブ〕

予想より多くの児童が利用している現状を確認できた。共働きの若い世代にとっては安全が守られ安心して働けるためにも必要な取り組みと思う。指導委員は20人を目安に受け持つとのことだが、よりサポートする体制も検討すべきである。

「くくしま放課後いきいき活動支援事業補助金」を活用した事業は有効に実施されているようだが子育て支援の観点からも町の予算を上乗せして充実を図ってはどうか。

棚倉小学校以外の長期休業日の子どもセンターでの対応は、施設が圧倒的に不足しており、保護者の各地域からの送迎の負担を少なくし、働ける環境を作るためにも各小学校での利用が出来ないか早急に対応すべきではないか。

今後、児童クラブ指導委員（補助員含む）等の不足が予想される為の対策や事業予算確保も課題と感じた。個人の費用負担が過度にならないように配慮して頂きたい。



現地調査の様子(子どもセンター)

〔子どもセンター〕

大変多彩な催しが年間を通して、職員が企画運営し実施されているのは評価出来ると思うが、保護者の意見を取り入れた幅広い内容とすべきとの意見もあった。

1日当たり15名の利用というところは遠くからの交通手段や親子で出かける場として選べない等、場所的な観点から利用者が限られた範囲の方々なのかと感じた。これまで以上の利用の推進をお願い

たい。
敷地内の整備については、水遊びをするような施設の整備も検討すべきである。防犯対策としてカメラの導入も検討すべきではないか。
棚倉小学校以外の長期休業日の放課後児童クラブの児童約80名が、狭いスペースで活動している状況は早急に改善すべきである。今後、地域子育て支援の拠点として、子どもセンターの役割が最も重要なため利用状況や職員予算等も含めた総合的な施設整備計画が必要であると考ええる。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 和知 裕喜 |
| 副委員長 | 藤田 智之 |
| 委員 | 蛭田 卓雄 |
| 委員 | 藤田 光子 |
| 委員 | 須藤 俊一 |
| 委員 | 和知 良則 |
| 委員 | 松本 英一 |



川越市議会議場にて

◆ 友好都市 川越市へ訪問



研修の様子

議員活動報告

◆ 東白川地方町議会議員研修会 (ユーパル矢野)

問 行政区に対し事業導入への要望の取りまとめは。
総務課長 主として区長会において事業の説明をし、現在要望等が集まってきている。

問 八槻地区での事業内容は。
町長 八槻御田植祭保存会へ祭礼用品等を補助。

問 今年度のコミュニティ事業の主な内容は
答 防犯灯LED化事業の他、太鼓などの祭礼用品整備



コミュニティ事業による防犯灯LED事業



さとう 喜一 佐藤 喜一

言わせて一言

人を・心を・時をつなぐたなぐらまちに

住む皆様にご意見、ご感想を伺いました。

毎回、議員の方々がどのような質問をし、町の問題を質疑されているか、議会だよりに目を通し勉強させて頂いています。

私はスポ少団体の子どもたちを指導し、昼夜、他の団体と切磋琢磨し活動しています。しかし町の施設で夜間活動できる場が棚倉総合グラウンドの1ヶ所しかありません。そのため、各団体(大人子ども)が密集し活動しているのが現状です。町民1スポーツを掲げるなかで活動できる場が無いのは疑問に感じます。

また、スポーツ以外にも避難所として考えたとき、学校や運動広場が指定されていますが、もし暗闇の中での避難となった場合、安全ですか？

元気な子どもたちを育成する場の整備。そして、万が一の際に夜間でも安全に避難場所への移動・確保ができませんよつ各学校への照明設置をご検討願います。

安全で安心に暮らせる町、誇りと愛着を持てる町づくりを目指し、各議員皆様のご活躍をご期待いたします。

北町にお住まいの
金澤 正人さん



堂ノ前にお住まいの
西岡 大樹さん



棚倉町に住み始め10年目になります。3人の子どものために恵まれ日々楽しく生活しています。

以前、議会だよりにもありましたが、毎年、夏に思うのは町民プールの必要性です。子どもたちが自由に利用できるプールがあれば良いと思います。

また、現在我が子が通園している棚倉幼稚園では保育室の増築工事を行っています。ですが、駐車場が狭くなり、送迎の際は大変混雑し敷地外への駐車も多く、危険な場面も多々目にします。来年度は園児が200名を超え、更なる混雑が予想されますので、問題が発生する前に早急に対策をしていただきたいと思います。

最後に、棚倉町がより住みやすい町になるようご期待し、併せて議員の皆様のご活躍を期待しております。そして、このような機会を頂きましたことに対し、この紙面をお借りし感謝申し上げます。

あなたも議会を傍聴しませんか



傍聴の手続きは、役場庁舎3階の傍聴席入口で住所と名前を書くだけで、どなたでも傍聴できます。

●12月定例議会日程のお知らせ(予定)

正式日程は、12月上旬開催予定の議会運営委員会で協議されます。

12月13日(水) 本会議

12月14日(木) 一般質問

12月15日(金) 一般質問

編集後記

秋の気配が一気に押し寄せ、昼夜の気温の差に身体が追い付かず風邪などをひかれています。そんな時には、ゆつくり休息をとりながら「議会だより」に目を通してみてはいかがでしょうか。お役に立つ記事に出会うかも…どうぞお身体を大切に。

広報編集常任委員会
委員 藤田 光子



広報編集常任委員会

- 委員長 藤田 智之
- 副委員長 鈴木 政夫
- 委員 藤田 光子
- 委員 菊池 忠二
- 委員 近藤 正光